



おぐに議会だより

第29号

平成29年11月10日

○平成29年度 9月定例会
○町政を問う(一般質問)

発行 小国町議会

編集 広報特別委員会

〒869-2592 熊本県阿蘇郡小国町宮原1567-1 TEL.0967-46-2119

平成29年9月定例会 平成29年9月8日～20日

9月8日から20日に平成29年度9月定例会が開催され、平成28年度一般会計並びに特別会計の決算が認定されました。

決算審査では、石松代表監査委員の決算審査報告も行われました。補正予算では旧開発センターの建替工事など7億3,006万円の追加補正が可決されました。来年の10月には完成予定となっています。

そのほか、町道北河内線災害復旧工事の議会承認、個人情報保護条例、情報公開条例の一部改正、市町村事務組合の規約の一部変更、一般会計補正(第3号)、国保特別会計補正、介護保険特別会計補正などが可決されました。また、固定資産評価審査委員会委員に松本和昭さん(上田)が再任されました。

陳情書では、「全国森林環境税の創設に関する意見書」が全会一致で可決されました。



第3回定例会(開会)の様子



石松代表監査委員の監査報告



(仮称)コミュニティー棟完成予想図



北河内線災害復旧工事

平成29年第4回臨時会 平成29年10月16日

10月16日(月)午前10時から小国町木魂館で臨時議会が開催され、衆議院議員選挙の専決補正予算と、(仮称)小国町庁舎コミュニティー棟新築工事(旧開発センター)関係の4つの工事請負契約締結についての承認が全会一致で可決されました。

工 事 名	落札業者	落札金額
庁舎コミュニティー棟建築主体工事	株式会社 橋本建設	4億9,313万円
庁舎コミュニティー棟電気設備工事	株式会社 電盛社	6,510万円
庁舎コミュニティー棟給排水衛生設備工事	北里電業水道設備 有限会社	4,946万円
庁舎コミュニティー棟空調設備工事	有限会社 伊藤設備	6,026万円

採決結果一覧表

(条例などの名称は一部短縮して記載しています。)

	議案番号	事件名	採決結果	穴井 帝史	大塚 英博	北里 勝義	高村 祝次	児玉 智博	時松 唯一	穴見 まち子	松崎 俊一	熊谷 博行	時松 昭弘	松本 明雄
9月定例会(9月8日～20日)	議案第39号	公共工事請負契約(町道北河内線②災害復旧工事)の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第40号	小国町個人情報保護条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第41号	小国町情報公開条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第42号	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第43号	平成29年度小国町一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第44号	平成29年度小国町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第45号	平成29年度小国町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意第12号	小国町固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	全員同意										
	認定第1号	平成28年度小国町一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	認定第2号	平成28年度小国町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	認定第3号	平成28年度小国町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	認定第4号	平成28年度小国町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	認定第5号	平成28年度小国町地方改善施設住宅新築資金等貸付金特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	認定第6号	平成28年度小国町坂本善三美術館特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	認定第7号	平成28年度小国町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第8号	平成28年度小国町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第9号	平成28年度小国町水道事業会計利益の処分及び決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	陳情第1号	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第46号	平成29年度小国町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	発議第6号	「全国森林環境税」の創設に関する意見書(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4回臨時議会	承認第3号	専決第3号 平成29年度小国町一般会計補正予算(第5号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第47号	公共工事請負契約の締結「(仮称)小国町庁舎コミュニティ棟建築主体工事」	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第48号	公共工事請負契約の締結「(仮称)小国町庁舎コミュニティ棟電気設備工事」	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第49号	公共工事請負契約の締結「(仮称)小国町庁舎コミュニティ棟給排水衛生設備工事」	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第50号	公共工事請負契約の締結「(仮称)小国町庁舎コミュニティ棟空調設備工事」	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



急傾斜地域内の崩壊対策について

北里 勝義

【町長】国保は大きな変革の時期を迎えており一定の負担を頂きながら医療福祉を増進する取組を行う。

【町長】国保は大きな変革の時期を迎えており一定の負担を頂きながら医療福祉を増進する取組を行う。



国保広域化に伴う町の取組について

時松 昭弘

【町長】国保は大きな変革の時期を迎えており一定の負担を頂きながら医療福祉を増進する取組を行う。

【町長】国保は大きな変革の時期を迎えており一定の負担を頂きながら医療福祉を増進する取組を行う。

【町長】国保は大きな変革の時期を迎えており一定の負担を頂きながら医療福祉を増進する取組を行う。

【町長】国保は大きな変革の時期を迎えており一定の負担を頂きながら医療福祉を増進する取組を行う。



小国町図書室

【町長】国保は大きな変革の時期を迎えており一定の負担を頂きながら医療福祉を増進する取組を行う。

【町長】国保は大きな変革の時期を迎えており一定の負担を頂きながら医療福祉を増進する取組を行う。



国保チラシ



小国町まち・ひと・しごと創生(エネルギー事業・米農家)の現状と課題

時松 唯一

【町長】国資源を活かした循環型の社会と産業づくりとしてのエネルギー事業(電気・バイオマス)の現状を問う。

【町長】国の指針である二酸化炭素削減に乗り取り再生エネルギー事業に取り組んでいる。水力・風力・太陽光・地熱、また森林資源を活用するなど、国の事業に着目しながら進めている。

【政策課長】地熱発電では2千キロワット事業者が1社、小規模バイオリー発電が1社稼働中である。バイオマス(木質チップ)では木魂館の薪ボイラー、公立病院のチップボイラーが稼働している。

【町長】チップの安定供給元の確保、また維持管理費等の採算性を考慮した上で、5〜10年後を見据えた計画を練り直す必要があると思うが、執行部の考えは。

【町長】チップの供給元については、今後小国郷近郊で木質材料を用いた施設の新設の動きがあり、それに伴う供給団体や業者

の増加を期待している。採算性については、重油価格の変動を見守りつつチップ燃料の利用を行っていききたい。

【政策課長】チップの燃焼効率を上げてランニングコストを削減することを目標に取り組んでいる。

【町長】小国町米農家の戸数、そのうち後継者が何人いるのかを問う。

【産業課長】平成29年度作付け状況より、948戸の農家で328ヘクタールの作付面積となっている。後継者の数は正確には把握出来ていない。

【町長】上田の農事組合法人で今後課題となる機械や人材の問題も含め、町の援助の方針は。

【町長】担当課職員が幾度となく会議に参加している。また県から非常勤職員の設置があり役員と協議しながら進めている。今後、他地区での展開におけるリーダーや役員となる方の後押しをしていきたい。



国民健康保険税の増税は回避せよ

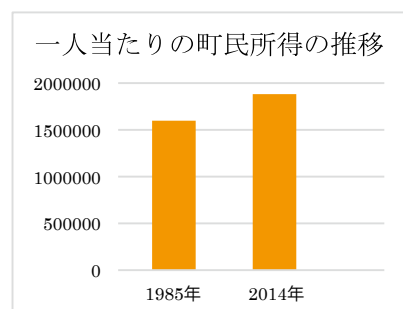
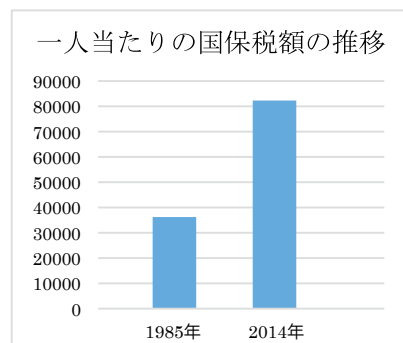
児玉 智博

【町長】熊本県国保運営検討会議の運営方針でも「国保の医療に要する費用及び財政の見直し」が一番に出ている。

【町長】熊本県国保運営検討会議の運営方針でも「国保の医療に要する費用及び財政の見直し」が一番に出ている。

【町長】熊本県国保運営検討会議の運営方針でも「国保の医療に要する費用及び財政の見直し」が一番に出ている。

【町長】熊本県国保運営検討会議の運営方針でも「国保の医療に要する費用及び財政の見直し」が一番に出ている。



と2倍以上高くなっている。税負担と消費活動は密接に関係していると思う。税負担が増えれば、地域経済にも影響しかねない。基金の活用や一般会計からの支援で増税は避けるべきだと思うが。

【町長】県も一般会計の法定外繰入は駄目だとは言っていない。しかし方向性としては繰入を出来るだけしないよう、また財政調整基金も600万円しか残っていない。全く無くなると何か緊急の事があつた場合に身動きが取れなくなる。改定も視野に入れないながら考えなければならぬと思っています。



給食無償化の検討は

穴井 帝史

【町長】行政として予算額内においてしつかり対応している。議員の発言から、なかなか効果が出ない部分もあると思われるので、今後いろんな見直しをしながら、より効果のあるものを選択したい。

【情報課長】聞き取り調査を行った結果、やはり実際に減少している。これには風評被害もあったのではないかと思われる。

【町長】今月末に私も出席し各種機関と協議したいと思う。各団体とも自助努力はされていると思うが、それを補完するような形で行政も共に頑張らせていただくといいスタンスで考えている。

【町長】今月末に私も出席し各種機関と協議したいと思う。各団体とも自助努力はされていると思うが、それを補完するような形で行政も共に頑張らせていただくといいスタンスで考えている。



坂本善三美術館の今後は

大塚 英博

【町長】設置条例にあるように、住民への教育施設としての役割と考えている。今後の運営としては、小国町の魅力を十分發揮して町内外の多くの方々にイベント等に参加して頂き地域振興を図る。

【教育長】設置条例にあるように、住民への教育施設としての役割と考えている。今後の運営としては、小国町の魅力を十分發揮して町内外の多くの方々にイベント等に参加して頂き地域振興を図る。

【教委局長】各関係機関との検討も徐々に行っている。

【町長】地域と行政との大事な位置付けにあると考えるが、修復関係補助金については様々な集会場の形態があるので、昔の様な補助金は現在では難しい。

【町長】地域と行政との大事な位置付けにあると考えるが、修復関係補助金については様々な集会場の形態があるので、昔の様な補助金は現在では難しい。

【町長】地域と行政との大事な位置付けにあると考えるが、修復関係補助金については様々な集会場の形態があるので、昔の様な補助金は現在では難しい。



坂本善三美術館



環境モデル都市の未来・町の魅力

熊谷 博行

【町長】環境モデル都市に指定され三年試行錯誤しているようだが、これといった事業等も少なく、補助金がらみのものばかりである。今回は再生可能エネルギーについて今後の方向性について問う。

【町長】町は、自然が豊富であり、さまざまな資源がある。その部分をどれに限るわけでもなく幅広く模索しながら慎重に進めていく。

【町長】隣の地場企業が、バイオマスチップを使用する自家発電装置を導入することだが、当町でも地場企業が事業を行なう場合には、どのような協力態勢を持つのか。

【町長】全ての地場企業に対し新事業に対する行政への相談があれば前向きに相談に乗るが、あくまでも情報提供という形になると思う。また、新しい情報を勉強する部分は行政として必要だ。

【町長】公立病院・老人介護施設に設置したバイオマスボイラーは、

開始から半年がたち赤字運転と聞き愕然とした。当初の説明通りの運転が出来るのは何時からか。

【町長】課題が見えつつある。機械操作の工夫等、初年度ということを経費的には厳しい部分があったと思う。

【政策課長】ランニングコストの計算時に重油単価との差額が採算性を取るには厳しい状態にあった事が現実である。

【町長】教育長は就任一年を経過した。今の小国小・中学校の魅力は。

【教育長】①まず小中一貫校である事。②教育環境・自然遺産・伝統文化・歴史遺産がある事。③地域保護者の励まし学習支援員・生活支援員の充実した環境がある事。

【町長】本年度から町外より越境入学生がいるが、これも学校の魅力の一つとして捉えていいか。

【教育長】そのように理解している。



豪雨災害と小国町の観光PR

松本 明雄

【町長】近年では1時間に100mmを超えるような雨が降り、どこでも災害が起きる可能性がある。7月の豪雨では柏田住宅にはもう一歩で水が上がる場所だったと聞いている。柏田住宅に水が入らなかつたのは対岸の農地の方が低かつた為そちらに水が行き、農地の方は非常に大変だったと思う。住宅の一階には高齢者や障害者の方が多く入居されているので、その辺りを配慮しながら今後どのような対策を進めていくのか。また小学校側よりも両神社側の方が1mほど低いいため氾濫した場合は町の中心部を流れ、相当な被害が出ると思われる。早く情報が得られるよう上流の水位計の位置の見直しも必要ではと考えるが。

【町長】柏田住宅に水が上がらないようにするには、どういうハード整備が必要か考えなければならぬ。水位計の足りない箇所は積極的に考えていきたい。

【町長】福岡県からのお客さんが約7

割くらいを占める現状。福岡市九州広場及びノース天神を活用し小国町のPRを。職員を東京よりも福岡事務所へ。薬味野菜の里の新装オープンPRを提案。

【町長】非常にいい提案を頂いた。今後は、積極的に福岡エリアに展開していきたい。



静川の風景



行政は被災者に寄り添った対応を

穴見まち子

【西里地域の防災訓練が7年振りに実施された。地震後に、町は避難マニュアルの見直しは行っていたが変更はなかったとの事だが、今回の訓練には、参加者も少なかった。この主な要因として参加者の高齢化が考えられる。西里小学校までは道幅が狭く遠い理由があると思うが、西里明里線の改良状況は。

栓、ホースの収納などを体験していただき、女性を含めた協力体制が出来ないかと考えるが。

【町長】自主防災組織と消防団が一緒に、消火栓などを確認している地域もある。女性の社会参加する機会が増えることはとても良い事だと思う。



平成30年度予算の見直しについて

高村 祝次

【町長の基幹産業である農林業・観光に従事する人々の育成（自らの経済は自らで解決するといふ意識改革、姿勢）を柱とした、平成30年度予算の見直しを求めるとともに、それに伴う無駄な予算の削減を行っていただきたい。また農業、林業、商工業、観光における町の将来像について、町長の思いを問う。

関係機関、団体に属している関係者がそこで最大限頑張ったとき、行政もそれを支援するという形になれば尚良いのではと考えている。農林業、観光においても施策を展開中だが、参考となるご意見を積極的に取り入れ、議論を深めながら共に対応を行っていききたいと考えている。

【建設課長】明里線、小原田・寺尾野線については、集中的に予算をつけて完成を急いでいる所である。

【西里小学校が、避難所として開設されたが、この小学校をサロンや交流の場として使用出来ないか。

【福祉課長】町の施設なので地域の意見があれば可能である。

【西里地区は消防団員の不足がある。元消防団員の方・防災リーダー・地域の方が一緒に、消火



消防大会の様子

【町長】限られた予算の中で、産業の育成、予算のテコ入れ等を行っていく。各議員の提案を頂くのであれば、予算議会の当日ではなく事前にいくつかのジャンル分けをしながら一緒になって調整を行いたい。非常に厳しい財源の中で議会の皆様方と相談させていただきながら、町民、各関係機関、団体共に歩んでいきたい。

将来像については、小国町は補助金が多い自治体であり、それを出して当たり前という部分があるが、各



若宮共販所

町村議会常任委員長・議会運営委員長研修会 平成29年8月22日

■8月22日(火)午後2時から、美里町文化交流センターで熊本県町村議長会主催の研修会が開催され、当町から5名の議員が参加しました。研修では、「二元的代表制の意義と議会の機能強化」と題して東京大学名誉教授 大森^{わたる}彌氏の講演がありました。



熊本県町村議会議長会研修会

平成29年 第4回 開発センター建替え検討特別委員会 平成29年8月31日



開発センター建替え検討特別委員会

■8月31日(木)午前10時から小国町隣保館で、開発センター建替え検討特別委員会が開催されました。今回は、建替えの実施設計を踏まえた補正予算についての審議が行われました。

第8回 全員協議会 平成29年9月4日

■9月4日(月)午前10時から小国町隣保館で第8回全員協議会が開催され、執行部から9月議会に提案予定の①条例改正についての説明②一般会計補正予算についての説明③特別会計についての説明があり質疑が交わされました。



全員協議会

議員勉強会 平成29年9月12日



議員勉強会

■9月12日(火)全員協議会終了後に、議員勉強会を開催しました。勉強会では小国町介護保険の現状と第7期計画の策定に向けた意見交換が行われました。

平成29年 第2回 ゆうステーション周辺整備特別委員会 平成29年9月26日

■9月26日(火)午前10時から小国町隣保館で、ゆうステーション周辺整備特別委員会が開催されました。今回は、「薬味野菜の里 小国」の新築工事についての審議が行われました。



ゆうステーション周辺整備特別委員会



薬味野菜の里とけやき広場



薬味野菜の里 小国

熊本県町村議会議員研修会 平成29年10月4日

■10月4日(水)午後1時30分から美里町の文化交流センター「ひびき」で県内の町村議会議員の研修会が開催されました。



県町村議員研修会

研修では、「熊本地震からの復旧・復興に向けての課題」と題して熊本県立大学理事長 五百旗頭 真氏と「町村防災とは？－熊本地震の教訓とともに－」と題して熊本県知事公室 危機管理防災企画監 有浦 隆氏の講演がありました。



講師の有浦氏

阿蘇市町村議会議員研修会 平成29年10月12日

■10月12日(木)午後1時から高森町の「休暇村南阿蘇」で郡内の市町村議会議員合同の研修会が開催されました。

研修では、「日本を元気に！地域活性化なくして日本の再生なし」と題して大阪観光局理事長 溝畑 宏氏の講演がありました。



講師の溝畑氏

編集後記

10月になり、例年になく雨が多く、小国の秋が訪れました。

殿町火災から一年が過ぎ、地元から復興要望書も提出されたようです。

今月7日から24日までの間、町主催の防災まちづくり懇談会が実施されます。住民の皆様の積極的な出席を期待します。

昨年中止になった両神社秋の大祭も雨の中行われ、どうにか一年の節目の行事が終わったという感じです。

前回号に少し書かせていただいた旧開発センター建替え計画も工事が発注され、工事承認も議決を経て正式契約が行われました。11月6日には起工式が行われる予定です。約一年の工期です。平成30年12月議会に間に合えば幸いですが、なにも工事にはどのような問題が発生するか解りません。今後、何十年も使用するものです。良いものを建設していただきたいと思えます。町民の皆様にご理解をお願い致します。

建設特別委員会を立ち上げていますので御意見等あれば議員までお知らせ下さい。
(熊谷 博行)

【発行責任者】

議長 渡邊 誠次

【広報委員会】

委員長 熊谷 博行

副委員長 穴見 まち子

委員 松崎 俊一

委員 穴井 帝史